

国の放射性物質検査ガイドライン見直し(案) に係る本県の対応方針について

平成29年3月 2 1 日
青森県農林水産部
食の安全・安心推進課

1

目 次

- 1 県が行う検査の実施体制
- 2 これまでの県内における検査の結果
- 3 国の見直し(案)を踏まえた本県の対応方針

2

1 県が行う検査の実施体制

県では、国ガイドラインに基づき以下の手順で検査を実施

- 1 毎年度、主要品目、産地数、地域特産品、収穫・漁獲時期等を考慮して検査計画を策定
- 2 市町村、農協・漁協等の立ち会いのもと、流通前にほ場・漁港から試料を県職員が採取
また、流通品は、保健所が店舗等から収去
- 3 商品の種類により、地方独立行政法人青森県産業技術センター、又は民間の検査機関で測定
- 4 測定した結果をホームページ等により公表
URL: <http://monitoring-aomori.pref.aomori.lg.jp/>

3

2 これまでの県内における検査の結果①

◆これまでの検査件数

単位：件

検査年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28 (3月2日時点)
検査点数 合計	10,699	24,261	21,928	19,297	19,053	18,256
うち栽培/飼養管理が 可能な品目群	10,170	22,753	20,382	18,058	17,973	17,149
うち栽培/飼養管理が 困難な品目群	366	1,388	1,349	1,176	1,031	1,047
その他(加工品等)	163	120	197	63	49	60

注) その他とは、牧草、サイレージ用とうもろこし、稲わら、堆肥、剪定枝、土壌、加工品。

4

2 これまでの県内における検査の結果②

◆品目別の検査件数（平成27年度）

区分(品目数)	検査件数(検出状況)
穀類(5品目)	74件(検出されず)
野菜(23品目)	100件(検出されず)
果樹(11品目)	56件(検出されず)
肉類(牛肉)	17,722件(検出されず)
畜産物(2品目)	20件(検出されず)
林産物(19品目)	298件 うち検出:ナラタケ10件、ブナハリタケ5件、ナメコ4件、 クリタケ28件、ムキタケ5件、ヌメリスギタケモドキ1件 (全て基準値を下回る)
水産物(37品目)	734件 うち検出:マダラ60件、ヒラメ1件、ブリ1件 (全て基準値を下回る)
その他(加工品等)	49件 うち検出:牧草1件(基準値を下回る)

注) 水産物は、国(水産庁)が主体となって実施している調査を含む。

5

2 これまでの県内における検査の結果③

◆農林水産物中の放射性セシウムの濃度

(栽培/飼養管理が**可能な品目群**)

放射性セシウムの濃度(Bq/kg)	H23	H24	H25	H26	H27	H28 (3月2日時点)
検出されず	10,170 (100%)	22,751 (99.99%)	20,382 (100%)	18,058 (100%)	17,973 (100%)	17,149 (100%)
50以下	0 (0%)	2 (0.01%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
50超100以下	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
100超	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

注1) 上段: 検出件数、下段: 検査件数に対する検出件数の割合。

注2) H24年度 にんじん1件(12Bq、六ヶ所村)、牛肉1件(27Bq、八戸市)

6

2 これまでの県内における検査の結果④

◆農林水産物中の放射性セシウムの濃度 (栽培/飼養管理が**困難な**品目群)

放射性セシウムの濃度Bq/kg)	H23	H24	H25	H26	H27	H28 (3月2日時点)
検出されず	274 (74.9%)	1,033 (74.4%)	1,065 (78.9%)	983 (83.6%)	916 (88.8%)	913 (87.2%)
50以下	86 (23.5%)	342 (24.6%)	282 (20.9%)	193 (16.4%)	115 (11.2%)	134 (12.8%)
50超100以下	5 (1.4%)	9 (0.6%)	1 (0.1%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
100超	1 (0.3%)	4 (0.3%)	1 (0.1%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

注) 上段：検出件数、下段：検査件数に対する検出件数の割合。

7

2 これまでの県内における検査の結果⑤

◆50 Bq/kg超が検出された件数の推移 (品目別) 【栽培/飼養管理が**可能な**品目群】

検査年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28 (3月2日時点)
穀類	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
野菜	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
果実	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
肉類(牛肉)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
原乳・鶏卵	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
きのこ類(栽培)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
山菜類(栽培)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

注) 上段：検出件数、下段：検査件数に対する検出件数の割合

8

2 これまでの県内における検査の結果⑥

◆100 Bq/kg超が検出された件数の推移（品目別）

【栽培/飼養管理が**困難な品目群**】

検査年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28 (3月2日時点)
きのこ類(野生)	0 (0%)	3 (0.22%)	1 (0.07%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
山菜類等(野生)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
水産物(海産)	1 (0.27%)	1 (0.07%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
水産物(淡水産)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

注1) 上段：検出件数、下段：栽培/飼養管理が困難な品目群の検査件数の合計

注2) 100 Bq/kg超は、平成23年：マダラ1件（117Bq、八戸市）※暫定規制値 500Bq
 平成24年：サクラシメジ1件（107Bq、青森市）、ホウキタケ1件（116Bq、階上町）、
 チチタケ1件（120Bq、十和田市）、マダラ1件（116Bq、八戸市）
 平成25年：サクラシメジ1件（150Bq、鰯ヶ沢町）

9

3 国の見直し(案)を踏まえた本県の対応方針①

◆「栽培/飼養管理が**可能な品目**」については、国が示した「直近3年間の検査がすべて基準値の1/2(50Bq/kg)以下」を満たしていることから、次の品目のみを検査し、その他の品目は検査を行わない。

(1) 輸入規制のある台湾に輸出している、又は輸出する可能性のある、りんご、米、ながいも、ぶどう

(2) 大手小売事業者から検査を求められている牛肉

◆「栽培/飼養管理が**困難な品目**」については、従来どおり検査を実施する。

10

3 国の見直し(案)を踏まえた本県の対応方針②

◆ <りんご、米、ながいも、ぶどうの検査を継続する特殊事情>

- (1) 県産りんごの最大の輸出先である台湾においては、現在、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、千葉県の5県の全ての食品が輸入停止となっており、日本の食品に対する安全性への不安が解消されていないこと
- (2) また、本県の農産物については、ガイドラインに沿った都道府県の検査は求められていないものの、台湾において全ロット検査及び産地証明書の添付を義務づける規制が継続していること



県として、県内産地の安全性の確認に取り組んでいることをアピールする必要がある。

◆ <牛肉の検査を継続する特殊事情>

牛肉の検査は、大手小売事業者等からの検査継続の要望があることから全頭検査を継続する。